

金沢大学 教職大学院

Graduate School of Professional Development in Teacher Education

金沢大学大学院教職実践研究科（教職大学院）

教職実践高度化専攻



子どもたち一人ひとりの
意欲・個性・創造性を伸ばす教育を目指して
学生一人ひとりの学びを支援します

<https://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

次のような学生の入学を求めています

教職実践研究科教職実践高度化専攻では、教員免許状取得（見込）者、あるいは現職の教員で、学校教育の授業・学習指導面における理論と実践に関する技能や研究、あるいは学校管理における実践的解決能力に関する技能や研究に強い意欲を持ち、それらの技能および研究に必要な学力や能力を有する人を求めます。

このようなことを学びます

大きく4つに分けられる科目を繋いで学びます。

1 5領域から成る「共通科目」 + 2 各コース独自の専門性を追求した「コース科目」

4 「総合科目」(理論と実践の往還)

3 学校での実践を通して学ぶ「学校実習科目」

- 共通科目では、本質に迫る理論と実践を学ぶとともに、複雑で現代的な実在の教育課題を取り上げます。
- コース科目では、それぞれのコースに応じ、基礎理論とその発展および事例検討などを行います。
- 1年次の学校実習は、全学校種の教育課程を有する本学附属学校園で行います。2年次の学校実習は、現職教員学生の所属する連携協力校において行います。
- 総合科目は専任教員全員が共同で担当し、多様な視点から理論と実践とを融合させた学習・研究を実現します。

このような力が身につきます

本研究科を修了すると「教職修士（専門職）」が授与されます。また、次のような力が身につきます。

<学習デザインコース>

- 地域や時代に適した教育課題、多様化する子どもの実態を踏まえた上で、子どもの主体的・能動的な学習を可能にする授業実践・教科指導を行い、カリキュラムを編成できる。
- 授業内での学習デザインにとどまらず、授業外においても教育相談や生徒指導を通して子どもの成長を支えることができる。
- 「学び」に障害のある子どもの教育についても理解し、積極的に取り組むことができる。

<学校マネジメントコース>

- 子どもの主体的な学びを実現させることのできる学校組織をマネジメントできる。
- 学校現場の諸課題の本質を認識し、その問題を解決するための改善策の企画立案とその実践を、同僚の教員集団や関係者との協働において行うことができる。

取得可能な免許状

専攻	コース	教育職員免許状の種類	免許教科
教職実践高度化専攻	学習デザインコース 学校マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	全教科
		中学校教諭専修免許状	全教科
		小学校教諭専修免許状	
		幼稚園教諭専修免許状	

※入学においては、教員免許状（一種）を有する必要があります。

◆ 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な学生に、標準修業年限を超えて一定の期間（3年又は4年）の計画的な履修を認める制度です。長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

詳しい情報は Web サイトをご覧ください

⇒ <https://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

研究科の目的と特色

本学教職大学院では、地域特性や教育課題を踏まえ、学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備え、特に子どもたちの主体的・能動的な学習をデザインし、支援する力において全県レベルでリーダー的役割を果たしうる優れた教員(新採教員や若手・中堅教員)、並びにそのような教員から組織される学校において、確かな教育理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や家庭と連携しつつ学校の管理運営において指導的役割を果たしうる中核的教員を養成します。

授業力・指導力 → 学習デザインコース
学校管理運営力 → 学校マネジメントコース

教職実践知の
交流拠点となり

教育実践力・応用力を身につけます
教育現場との連携協力による授業を行います

附属学校園
(5 校園)

地域教育機関
(教育委員会・協力校)

カリキュラム構成

教職実践研究科の学年別カリキュラムは次のとおり構成されています。

<1年次> 大学での授業と、9月に附属学校園で行われる『学校実習Ⅰ』から成ります。

<2年次> 連携協力校における『学校実習Ⅱ』を中心として、その活動を省察するために大学で行われる授業(毎週金曜日)から成ります。

連携協力校とは：現職教員院生の勤務校を連携協力校とします。ストレートマスターの学生もこの連携協力校にて学校実習を行います。

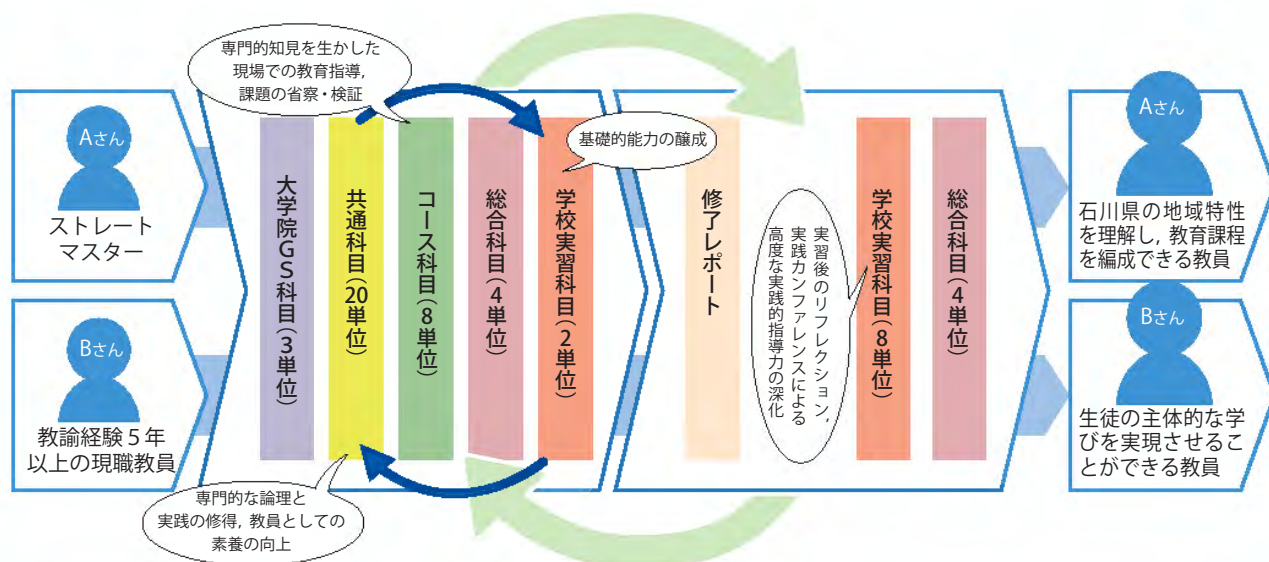
なお、研究科の修了には「大学院GS科目」を選択科目2単位含めて3単位、「共通科目」を選択科目2単位以上を含めて20単位以上、「総合科目」を8単位、「コース科目」を選択科目2単位以上を含めて8単位以上、「学校実習科目」を10単位を修得し、計49単位以上を修得する必要があります。

大学院 GS 科目 (3 単位)	「研究者倫理」「社会の担い手としてのヴィジョン探究」「法学・政治学研究入門」「先端地域創造講義」 「人間社会論文作成基礎」「課題発見・解決論基礎」「国際学とグローバル化」
共通科目 (20 単位)	(1) 教育課程の編成・実施 「カリキュラムの理論と実践」「地域教育実践」 (2) 教科等の実践的指導法 「授業研究」「発達障害の理解と対応」「地域教育研究」 (3) 生徒指導、教育相談 「教育相談の理論と実践」「カウンセリング演習」 (4) 学級経営、学校経営 「学校マネジメントの理論と実践」「学校マネジメントの心理学」 (5) 学校教育と教員の在り方 「現代教師論」「現代における教育課題研究」
総合科目 (8 単位)	「実践カンファレンスⅠ」「実践カンファレンスⅡ」「専門研究Ⅰ」「専門研究Ⅱ」
コース科目 (8 単位)	◇学習デザインコース 「学習デザイン研究Ⅰ」「学習デザイン研究Ⅱ」「学習事例研究Ⅰ」「学習事例研究Ⅱ」「授業の専門知識」「教育評価研究」 「学習・発達研究」 ◇学校マネジメントコース 「学校マネジメント研究Ⅰ」「学校マネジメント研究Ⅱ」「学校事例研究Ⅰ」「学校事例研究Ⅱ」「学校危機管理論」
学校実習科目 (10 単位)	「学校実習Ⅰ」「学校実習Ⅱ-A」(現職教員学生向け)「学校実習Ⅱ-B」(ストレートマスター向け)

学習デザインコース

Learning design course

学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備えるとともに、子どもが個人として自立し、他者と協働でき、様々な事柄に対して創造性を発揮できる能力を育てることができるよう、発達障害、カウンセリングや生徒指導、ICT等についての知見を踏まえながら、学習をデザインできる実践的能力を育てます。



対象

1年次 | 理論と実践の往還と資質能力向上

2年次 | 現場実習での教育実践力の深化

現職教員は、所属先で勤務を行いながら指導を受けます。週1回程度通学し、実践カンファレンスⅡ、専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

ストレートマスターは、週2回程度県内連携協力校で実習を行うとともに、大学で実践カンファレンスⅡ、専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

【学習デザインコース】

専任教員

<研究者教員>

大谷 実	加藤 隆弘	滝沢 雄一
武居 渡	本所 恵	松原 道男

<実務家教員>

川谷内哲二	端崎 圭一
盛一 純平	米倉 敏広

協力教員

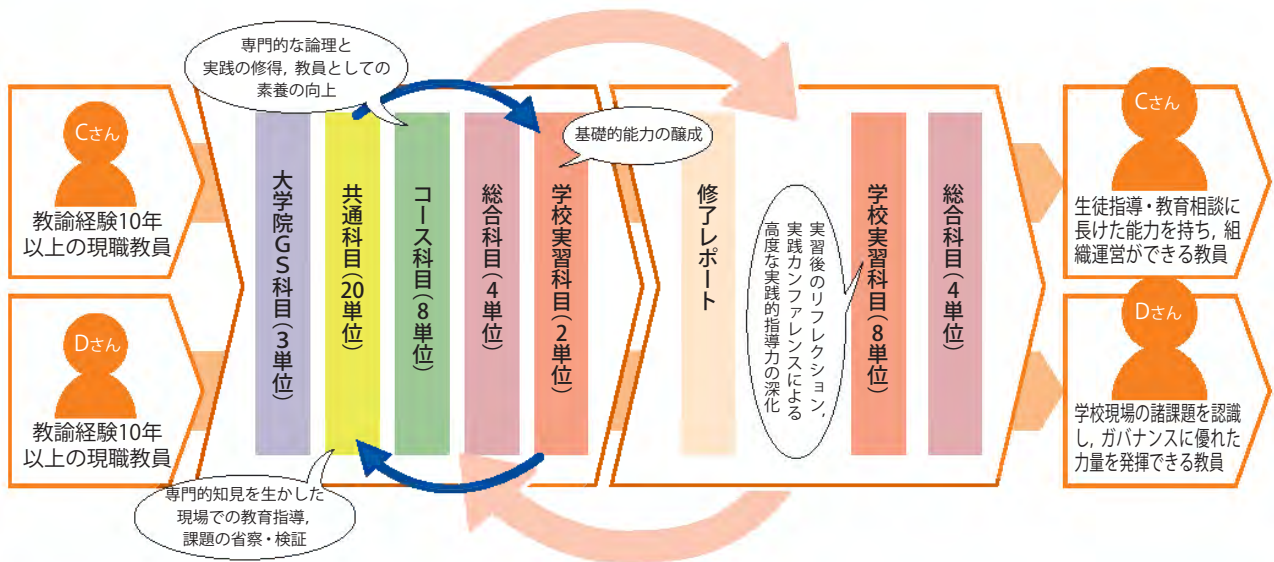
浅川 淳司	伊藤 伸也	上森さくら	折川 司
小林 宏明	田部 絢子	鳥居 和代	土井 妙子
原田 克巳	平石 晃樹	吉川 一義	吉村 優子



学校マネジメントコース

School management course

子どもを中心とする保護者・地域社会・学校の連携の輪を構築するとともに、学校の管理運営や、そこで直面する問題に対する解決において指導的役割を果たし得るに必要な知見と問題解決のための実践的能力を育てます。



対象

1年次 | 理論と実践の往還と資質能力向上

2年次 | 現場実習での教育実践力の深化

所属先で勤務を行いながら指導を受けます。週1回程度通学し、実践カンファレンスⅡ，専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

【学校マネジメントコース】

専任教員

<研究者教員>

萱原 道春 鈴木 瞬

<実務家教員>

小浦 寛 新村 裕二
山本 仁

協力教員

伊藤 伸也	折川 司	樫見由美子	小林 宏明
田部 絢子	土屋 明広	鳥居 和代	土井 妙子
野坂 佳生	原田 克巳	福本 知行	吉川 一義
吉村 優子			



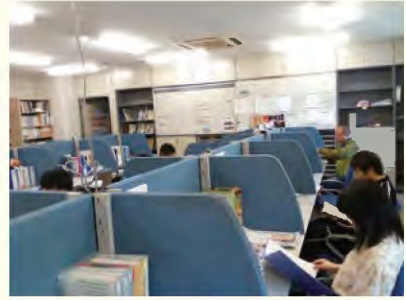
施設設備



演習室



模擬授業室



学生自習室

ACCESS



金沢駅から角間キャンパスへのアクセス 〈北陸鉄道バス利用の場合〉

JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナル7番のりばから
91 93 94 97 北鉄バス「金沢大学(角間)」行き乗車, 「金沢大学」(終点)下車 徒歩約3分
※「金沢大学中央」で下車した場合は徒歩約5分

[お問い合わせ先]

金沢大学人間社会系事務部学生課

〒920-1192 石川県金沢市角間町
<https://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

(入試関係) 入試係 TEL: 076-264-5600~5602
E-mail: n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp
(教務関係) 大学院係 TEL: 076-264-5455
E-mail: n-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp